

日マケドニア外交関係樹立20周年に際する 首脳間及び外相間の書簡の交換について

1. 本年、我が国とマケドニア旧ユーゴスラビア共和国は、1994年の外交関係樹立から20周年を迎えます。
2. 2月10日、スコピエにおいて、マケドニア訪問中の牧野たかお外務大臣政務官は、ニコラ・グルエフスキー首相(H. E. Mr. Nikola Gruevski, Prime Minister)との会談冒頭、安倍総理大臣とグルエフスキー首相との間の書簡を、また、ゾラン・ペトロフ外務副大臣(H. E. Mr. Zoran Petrov, Deputy Minister of Foreign Affairs)との会談冒頭、岸田外務大臣とポポスキー・マケドニア外相との間の書簡をそれぞれ交換しました。
3. 双方は、両国が外交関係樹立20周年という記念すべき年を迎えたことを祝うとともに、良好な友好関係を基礎に、二国間関係のさらなる強化に向けて協力していくことを確認しました。
4. 安倍総理の書簡の概要は以下の通りです。
 - ・ 20年前に始まった二国間関係は、その後着実に発展してきた。特に、2011年、首相として初めて閣下が訪日されたことは両国関係を進展させる上で大変有意義なものであり、喜ばしく思う。
 - ・ 日本にとって、南東欧地域全体の安定と繁栄の実現は大きな関心事項であり、今後もマケドニアの民主的改革及び経済発展に向けた努力を引き続き支援していきたい。
5. 岸田外務大臣の書簡の概要は以下の通りです。
 - ・ 20年前に始まった二国間関係は、2011年には、マケドニアから初めてとなる首相の訪日を実現した他、2013年には、日本の対マケドニア初の円借款案件が完工する等、様々な分野で深化しており、喜ばしく思う。
 - ・ 日本にとって、南東欧地域全体の安定と繁栄の実現は大きな関心事項であり、今後もマケドニアの民主的改革及び経済発展に向けた努力を引き続き支援していきたい。